

『Mind Charging』

第 171 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 12 月 7 日

ビヴァリー・シルズの名言



You may be disappointed if you fail, but you are doomed if you don't try.

失敗すればがっかりするかもしれないが、挑戦しなければがっかりどころではない。

これまでのみなさんの人生の中で『失敗してしまった・・・』と後悔した経験があると思います。やり直したい気持ちはあっても時間を戻すことは不可能です。今後の人生の中でその経験をバネに新たな挑戦をすることや、失敗を含めた数々の挑戦による“経験値”を上げていくことによって自分の能力を向上させ、挑戦を成功させることで過去の後悔を未来の勝因に変えられるよう、違う形でやり直そうというポジティブな考えが重要だと思います。

みなさんは過去にしてきた失敗の中で、今も本当に立ち直れないというものは全体の何割くらいありますか？もちろん失敗したことや、失敗を招いた自分の落ち度について真摯に受け止めることが絶対条件ですが、実は『今だったらきっと成功させることができる！』と思うようなこともあるのではないのでしょうか。日々の成長の中で、当時はクリアできなかった課題が今なら自分の能力の成長の実感から生まれる自信も手伝って、当時より高いレベルの自分が当時よりも落ち着いて取り組めるから成功させられそうな気がするといったこともあると思います。ただ、挑戦をしないうちは今すぐ成功するかも将来的に成功するのかわからないままです。『実はやってみたかったけど無理だと思ってた。なんだ、その気になれば成功してたはずだったんだ・・・』という後悔は、特に未来溢れるみなさんのような世代の人には絶対にしてほしくないと思います。失敗による後悔は自分の力のなさを痛感するものであり、挑戦しなかった後悔は自分につながりすることです。自分の可能性を広げる活動を正智深谷高校で積極的に取り組んでほしいと願っています！（編集委員：入試広報室 鈴木）

ベヴァリー(またはビヴァリー)・シルズ(Beverly Sills, 1929年5月25日 - 2007年7月2日)は、アメリカ合衆国の最も有名なオペラの歌手の一人。1960年代から1970年代にかけて、コロラトゥーラ・ソプラノとして活躍した。1980年に引退してからは、ニューヨーク・シティ・オペラのゼネラル・マネージャーに就任した。成功した著名人ではあるものの、現実的な人柄や、先天的欠損症に対する予防や加療を支援する慈善活動によって多大な好感を集めていた。(Wikipedia 参照)